

自己成長型AIサービス「Happiness Planet FIRA」についての調査

FIRA の概要と背景

日立製作所とそのグループ会社ハピネスプラネットは2025年8月26日、経営議論を支援する自己成長型AIサービス「Happiness Planet FIRA」（フィーラ）を発表した。FIRA は単一の大規模言語モデルを利用する従来の生成AIとは異なり、**各分野に特化した AI エージェント（「異能」）同士が自律的に熟議し、深い洞察や創造的な選択肢を生み出すことを目指す** ¹。

背景と開発目的

- ・日本企業は効率化には成功しているものの、創造性の面で世界に遅れをとっていることが背景にある。ハピネスプラネットの矢野和男CEOは、生成AIの回答の多くが「物知りではあるが賢くない」一般論に留まることを指摘し、AIに創造性を与える必要性を説いている ²。FIRA では量子確率論を応用して創造性を定式化し、AIに実装することで「自己成長する異能」を作り上げた ³。
- ・FIRA の名称はルネサンスがフィレンツェ（Firenze）で起こった原理（Arche）にちなむ ⁴。人間とAIの協創による経営を象徴するために、この名前が付けられた。

600 種類の「異能」とは何か

多様な専門家 AI のネットワーク

FIRA の最大の特長は、**600 種類の AI エージェント＝「異能」**が議論を行う点である。異能には次のような特徴がある：

1. **専門知識や価値観が異なるエージェントが自律的に熟議し、時には協調・時には対立しながら洞察を深め、創造的な選択肢を生み出す** ⁵。
2. **Super職制エージェント**：テーマに応じて「スーパーCEO」「スーパーCFO」「スーパーCMO」「Dr. 競争戦略」「Dr. 革新発想」などが召喚され、財務・戦略・マーケティング・革新発想等の専門的な視点を提供する ⁶。
3. **学際的な専門家エージェント**：経営学・経済学・心理学・IR・財務・人財・データサイエンス・コンセプトづくり・ウェルビーイング・歴史・科学・思想・哲学など多様な分野のAIが用意されている ⁷。これは伝統的なコンサルタントや専門家チームをAIに置き換えたような構成である。
4. **実在の専門家の分身**：メンタルトレーナー久瑠あさ美氏、ウェルビーイング思考の高橋ゆき氏、世界陸上金メダリストの為末大氏、著述家山口周氏、矢野和男氏（ハピネスプラネット CEO）など実在の専門家の思考や哲学を学習した Bunshin（分身）が存在する ⁸。
5. **自己成長する仕組み**：量子確率論に基づいて創造性を数理モデル化し、異能同士の議論を通じてAI自身が賢くなる「自己成長型AI」を目指している ³。

召喚と議論の仕組み

- ・利用者がテーマを入力すると、AIファシリテーターが必要な異能を自動的に召喚し、30秒程度で議論を開始する ⁹。
- ・AIファシリテーターは議論の司会進行を担当し、発言者の順序や長さを調整しながら議論の流れや場の感情を捉える ¹⁰。

- ・議論内容は音声やテキストで閲覧でき、結果は報告書にまとめられる ¹¹。
- ・異能は今後さらに増やす方針が示されている ¹²。

公開されている評価

- ・FIRA は経営課題に対するAIの回答を「驚き」「奥深さ」「メタ認知」などの7項目で評価した際、主要生成AIを大きく上回るスコアを獲得したと自己評価している ¹³。
- ・ハピネスプラネットの公式サイトでは、経営・財務・テクノロジーの専門知識を持つAIに実在人物の知見を組み込んだ600種類の異能をプリセットしていること、熟議により創造的な回答を導くという特徴が示されている ⁵。

他の AI エージェント型サービスとの比較

日本では近年、経営やマネジメントの現場で AI エージェントを利用するサービスが相次いでいる。FIRA を理解するために、代表的なサービスと機能を比較する。

サービス	提供企業 /開始時期	主な機能・特徴	FIRAとの相違点
AI役員 「CoreMate」	麒麟ホールディングス (2025年7月導入) ¹⁴	取締役会・経営戦略会議の議事録や社内資料、外部情報から 12名のAI人格 を構築。AI人格同士が論点や意見を交換し、抽出した数個の論点を経営層に提示する。経営会議の意思決定の質とスピード向上を目的とする ¹⁴ 。	人格数は12名でFIRAの600異能より少ない。議論は経営資料や過去会議データに基づくシミュレーションで、AI人格が自律的に自己成長する仕組みは示されていない。対象は自社グループの会議。
AI社長	株式会社THA (中小企業向け、導入企業50社を突破) ¹⁵	企業理念・価値観と社内データを統合し、会社ごとのオリジナルAIチャットを構築。CEOの「心」と「頭」を二層構造で反映し、24時間社員の相談に対応 ¹⁶ 。汎用AIでは難しい「会社らしさ」を保持する。	個別企業の理念に基づいたチャットボットであり、経営判断の議論や複数エージェントによる熟議は行わない。用途は社員サポートや業務判断。
AI-CEO (SMBC)	三井住友フィナンシャルグループ (2025年7月頃) ¹⁷	RAG技術により中島達CEOの過去の発言や考え方を学習したチャットボット。「新入行員の相談や業務用語、ランチメニュー」など何でも答える。社員がCEOに親しみを持つこととAI活用の浸透が目的 ¹⁸ 。	特定のCEOの人柄を模倣し社員向けの相談窓口として設計。FIRAのような異能間の議論や創造的選択肢生成はない。
AI・CEO 「ヒューマノイド熊谷正寿」	GMO インターネットグループ (2025年9月発表) ¹⁹	代表の熊谷正寿氏の思考と「GMOイズム」を学習したAIをヒューマノイドロボットに搭載。音声で質問に答え、社内外の会議や接客に参加。将来的には経営判断の支援や24時間稼働の「コピーCEO」となることを想定 ²⁰ 。	フィジカルなロボットとして実体化した点が特徴。対象は自社で、AIは特定個人の思想に基づく。複数AIの議論機能はない。

サービス	提供企業 / 開始時期	主な機能・特徴	FIRAとの相違点
AI課長	大東建託（2024年10月導入） 21	約2,900名の営業担当者向け研修ツール。AIが顧客役を演じるロールプレイングで営業手法を学び、終了後にAIが個別フィードバックを提供。今後はチャットボット機能や音声データ解析機能を追加予定 21 。	目的は新人教育と営業力向上で、経営議論や意思決定には用いない。複数エージェントの熟議はない。
PeopleX AI上司	株式会社 PeopleX（旧 HR Operator） （2025年5月提供開始） 22	社内データを収集・分析し、各社員の業務状況をレポートニングして上司や人事担当者を支援する。データ抽出の追加作業が不要で、上司も部下も客観的な気づきを得られる 22 。	データ分析による可視化が中心で、AIが議論を行ったり創造的な提案を生成する機能はない。
mento マネジメントAI	株式会社mento （提供は2026年1月開始予定） 23	「AIが部下の本音を引き出し、上司がパーパスを描く」役割分担で、AIとコーチングを組み合わせた新しいマネジメントスタイルを提案。AIは部下の内省や感情の整理を支援し、得られた情報を上司へレポートニングする 24 。	チームの心理的安全性や内省支援に焦点を当てる。経営意思決定向けではなく、創造的な熟議を行うエージェントは存在しない。

考察：FIRAの特徴と評価

- 議論のレベルと創造性**：FIRA は単なる情報検索や定型回答ではなく、異能同士の議論を通じて思考を「リフレーミング」し、新たな経営の選択肢を提示する点が特徴である 25。量子確率論を用いた創造性の定式化という試みもユニークで、エージェントの議論が自己成長につながる点は他サービスに見られない。
- エージェント数と多様性**：600種類という規模は、他サービスの12人格（CoreMate）や1人格（AI社長・AI-CEO）と比べ圧倒的に多い。専門分野を幅広くカバーし、実在の専門家の思考まで取り込んでいる 26。この多様性が経営の複雑なテーマに対する解の豊かさに寄与すると考えられる。
- 自己成長と透明性**：FIRA は「議論の経験をもとに自己成長する」ことを掲げているが、そのアルゴリズムや学習プロセスは公表されていない。議論による成長がどの程度効果的か、利用者は結果報告から推定するしかない。AI が意思決定にどこまで寄与したかの説明責任や倫理面の課題も残る。
- 導入ハードルと対象**：FIRA は経営者や企画部門向けの高機能なサービスであり、導入コストや運用体制が課題となり得る。対して AI 社長や AI 課長、PeopleX AI 上司などは特定企業の文化や研修に合わせたサービスで、利用範囲は限定的だが導入のハードルは低い。
- 法的・倫理的課題**：AI が役員や社長の意思決定を担うことに対して、会社法上の制約や責任の所在、データのプライバシーなどの課題が指摘されている 27。FIRA も人間の意思決定を補助するツールとして設計されているが、今後AIにどこまで権限を与えるかは議論が続く。

結論

「Happiness Planet FIRA」は、量子確率論を応用した自己成長型AIと **600種類の異能** からなる議論エージェント群により、従来の生成AIにはない創造的な洞察を提供しようとする革新的なサービスである。経営層の思考パートナーとして多様な視点を提示し、テーマに対するフレームを再構築することで、意思決定の質を高

めることが期待される。一方、**AI役員（麒麟）**や**AI社長**、**AI CEO** など他社の取り組みは、特定の人物や過去の経営データを基に個々の人格を模倣したチャットボット型が中心であり、複数エージェントの熟議や自己成長といった仕組みは導入されていない。

FIRA が成功すれば、日本企業における創造的な経営議論の在り方を大きく変える可能性がある。しかし、サービスの有効性は今後の検証と透明性の向上に左右される。ユーザー企業はAIによる提案を参考にしつつ、最終的な意思決定の責任は人間が担う姿勢を保ち続けることが重要である。

1 2 3 4 6 7 8 9 10 11 12 13 25 26 日立とハピネスプラネット、600種類のAIエージェントが自律的に議論し解決策を提案する「Happiness Planet FIRA」 - クラウド Watch

<https://cloud.watch.impress.co.jp/docs/news/2043368.html>

5 FIRA | ハピネスプラネット

<https://happiness-planet.org/service/fira/>

14 「KIRIN Digital Vision2035」に基づき、AI役員を導入 | 2025年 | KIRIN - キリンホールディングス株式会社

https://www.kirinholdings.com/jp/newsroom/release/2025/0804_02.html

15 16 企業理念を体現する「AI社長」導入企業が50社を突破 | 株式会社THAのプレスリリース

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000034.000139335.html>

17 18 27 キリンHDは経営会議に「AI役員」が参加して議論、SMBCではCEOの人格を読み込ませた「AI-CEO」登場…AIは経営を変えるか | 企業・ベンダー・コンサルが激変！DX2025 エージェントAIが来る | ダイヤモンド・オンライン

<https://diamond.jp/articles/-/373495>

19 20 日本初、ヒューマノイドロボットでAI・CEOを実体化！GMOインターネットグループ、AI・CEO「ヒューマノイド 熊谷正寿」を実現 | GMOインターネットグループ株式会社

<https://group.gmo/news/article/9698/>

21 人工知能を活用した独自システム「AI課長」を開発、10月中旬より導入 | 土地活用のことなら - 大東建託

https://www.kentaku.co.jp/corporate/pr/info/2024/release_aikacho_241010.html

22 PeopleX、AIによるマネジメント支援サービスの名称を「PeopleX AI上司」に | 株式会社PeopleXのプレスリリース

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000128.000139786.html>

23 24 AIが本音を引き出し、上司がパーパスを描く。AI時代の管理職を支援する「mento マネジメントAI」リリース | 株式会社mentoのプレスリリース

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000062.000048788.html>